

取扱説明書

ZETA アドベンチャー ウインドシールド

CRF250L/M '12-20

CRF250L '21-, CRF300L '21-

この度は ZETA 商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

1.注意事項

- ・作業には専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となる場合があります。
- ・製品に対し、加工・改造を行わないでください。事故や破損の原因になります。
- ・既に車両に装着されている純正部品以外の製品、部品等によって本製品と干渉し使用できない場合があります。

2.取り付け前確認事項

本製品を取り付ける際のワイヤー、ブレーキホース等の取り回しは、車種、車両の仕様により異なります。

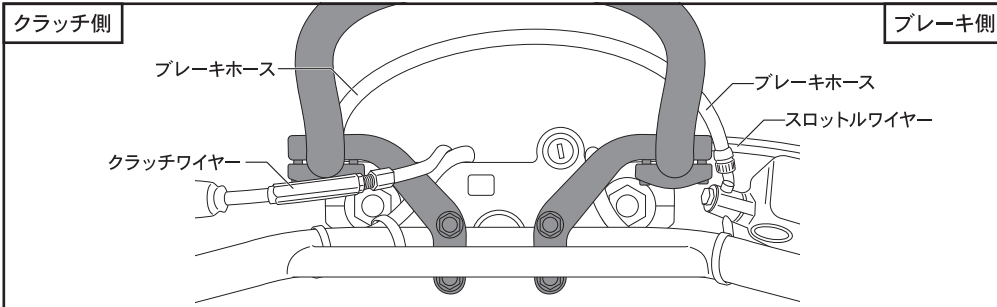
ご自身のバイクに対応する取り回し方法を P2 の図でよくご確認の上、取り付け作業を行ってください。

⚠【ご注意】

純正ハンドル、純正レバーポジションを取り付け基準としています。純正以外のハンドルを使用している、又はレバーポジションを変更している場合、ワイヤー類、ブレーキホース、バンジョーボルトに強く干渉し、取り付け又は操作に支障が出る場合があります。その場合、右記の調整が必要です。

- ・フロントブレーキバンジョーボルトの向きを調整
※必ずサービスマニュアルを参照しトルク管理をしてください。
※車両により向きが変更できない場合があります。
- ・レバーポジションの角度、位置を調整
※レバーポジションに合わせワイヤーの取り回しを工夫してください。
- ・ハンドルの角度を調整

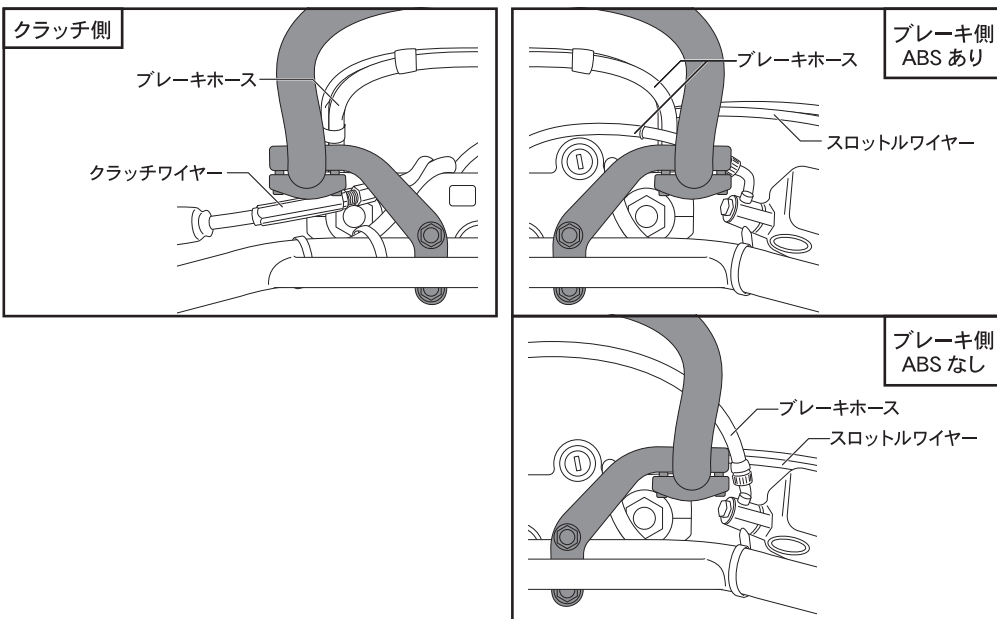
CRF250L/M '12-20



CRF250L '21-, CRF300L '21-

△【ご注意】

ABS あり / なしによりブレーキホースの取り回しが異なります。

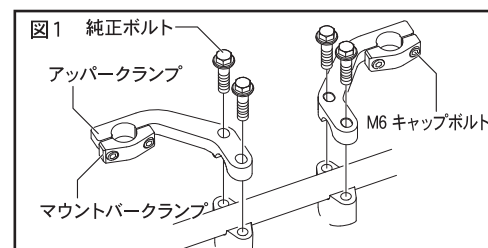


3.取り付け方法

1) 純正アッパークランプを取り外し、本製品のアッパークランプとマウントパークランプを仮組みします(図1)。

※ボルトは純正ボルトを利用します。

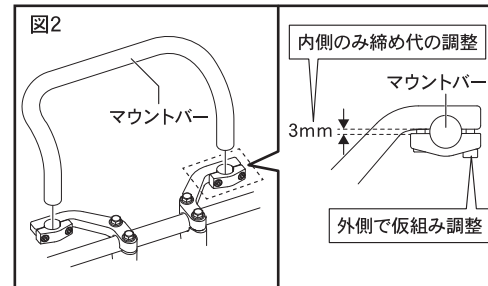
※既にアーモガードが取り付けられている場合、アーモガードマウントの位置の微調整が必要になる場合があります。



2) アッパークランプにマウントバーを仮組みします(図2)。

※マウントバーが取り付け難い場合、アッパークランプの取り付けボルト、マウントパークランプのボルトを緩め取り付けてください。

※マウントパークランプの締め代の調整をしておくと本締め作業がスムーズに行えます。



3) ハンドルポジションを最終決定し、アッパークランプを本締めします。ボルトは前方から締め、最後に後方を締めてください。

4) マウントパークランプを本締めします。内側のボルトは工具が入り難い場合があります、その場合外側のボルトだけで本締めすることができます。

5) ハンドルをゆっくりと左右に切り、スロットルがスムーズに回転するか確認し、各ワイヤー、ホース類に負荷を与えてハンドル操作に支障がないか確認します。

6) マウントバーにスクリーンアダプター、スクリーンを取り付けます(図3)。

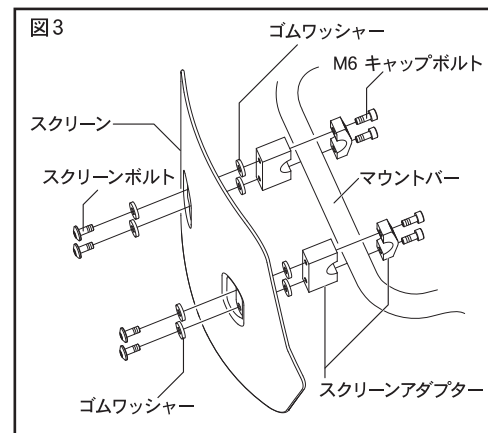
7) ハンドルをゆっくりと左右に切り、スクリーンが車両に干渉していないか確認してください。

8) 視界の確認及び各部のガタツキ、ボルトの締め忘れ等が無いかを確認してください。高速走行する前に必ず試走行を行い、ハンドル操作フィーリングに問題がないか確認してください。

・スクリーンボルト等、緩みがないかを定期的に点検してください。

・ZETA アーモガードシリーズの取り付けが可能です。
※マウントタイプの種類により、取り付けができない場合があります。

・一度セッティングが終了したら、アッパークランプを純正と交換、又はマウントパークランプを緩めることにより簡単にスクリーンの取り外し、取り付けができるようになります。

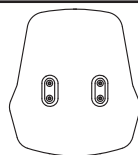


4.スクリーンの仕様／注意事項

■ 2通りのデザイン

使用状況、好みに合わせ2通りの取り付けが選択可能です(図4)。

図4



ロング/スマートタイプ



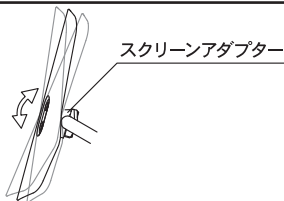
ショート/ワイドタイプ

■ 角度/高さ調整 ※車両により調整幅が異なります。

- ・スクリーンアダプターを緩めることにより簡単に角度を調整することができます(図5)。
- ・マウントバークランプを緩めることにより簡単に高さを微調整することができます。

※ワイヤー、ブレーキホースに干渉し高さ調整ができない場合があります。

図5



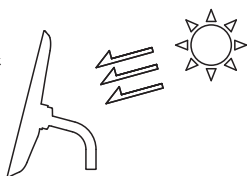
■ 特記注意事項

△【ご注意】

スクリーン装着後、車体後方よりスクリーン部の内側に太陽光が直接あたる状態での駐停車は厳禁です。太陽光の収れん現象(図6)により発生した不具合や事故損害につきましてはいかなる場合でも当社では一切責任を負いません。

図6

太陽の
収れん現象



■ メンテナンス

- ・スクリーンを洗浄する時は、表面を傷付けないように、水又は、ぬるま湯をかけながら、柔らかい布又はスポンジで拭いてください。
- ・破損や傷、劣化により視認性が悪くなった場合、速やかに交換してください。

リプレースメントスクリーン：ZE70-1900

5.マウントバー

- ・スマートフォンホルダー、ナビホルダー等を取り付ける場合、ブレーキホースの動きに干渉しない位置に取り付けてください。

※ブレーキホースの干渉より、機器を中央に取り付けられない車両があります。

- ・マウントバーに機器を装着した場合、配線処理に付属のリリースタイラップ(2本付属)を利用してください。